



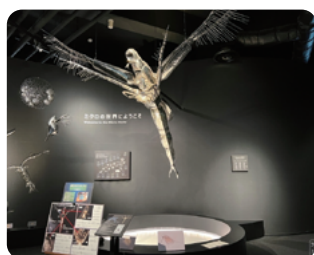
堤と取水塔を大胆に展示 日本最古のダム式溜め池

冬に池の水が抜かれると、あらわになった池底に直径27mの巨大な穴が現れます。江戸時代の池改修で放流口の滝壺を埋めた際、ここに棲む池ヌシの龍が仮住まいできるよう造った穴なんだとか。

狭山池がこの地に築造されたのは1400年も前のこと。古事記や日本書紀にもその名が記され、高度な土木技術が必要なダム式の溜め池として、日本最古でありながら今なお現役。現代まで幾度も繰り返された改修工事には、奈良時代の行基、鎌倉時代の重源、江戸時代の片桐且元など各時代の池造りのスターが携わってきました。

300m程度だった築造当初の堤長は改修のたびに大きくなり、現在は1kmにも。改修の痕跡は年輪のように堤の地層に刻まれてきました。その堤を輪切りにして世界初の屋内まるごと展示をしたのが狭山池博物館。溜め池の心臓ともいえる底樋や、見上げるほどの取水塔の実物展示もあって圧巻です。入館無料。

「湖沼・池の博物館」アラカルト



琵琶湖

いわずと知れた日本一大きな湖沼である琵琶湖には、規模・内容ともに日本一充実した湖の博物館の琵琶湖博物館が。

●滋賀県草津市下物町



八郎湖

日本で2位の大きさだった八郎湖が干拓されて残ったのが八郎湖。その壮大な干拓の歴史や技術が大潟村干拓博物館に。

●秋田県南秋田郡大潟村西



福里地下ダム

離島の農業を支える水を貯める地下ダムの構造や技術について学べるのが福里地下ダムにある宮古島地下ダム資料館。

●沖縄県宮古島市城辺福里

文・イラスト・写真
市原千尋

Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オックス)。

【運営ブログ】水辺溜路
<https://bunbun.hatenablog.com>

